

2015（平成27）年7月13日発行

活動
報告！

総合防災訓練を実施！皆さんお疲れ様でした！



7月5日（日）、六原学区にて、学区内30ヶ町より265名の参加のもと、総合防災訓練を実施しました。避難訓練では、設定された4つの通行不可箇所を避けるように、各町で指定された門へ避難する訓練を行いました。また、東山開晴館・六原学舎では、4種類の防災訓練を行いました。東山消防署、東山区役所、京都府建築士会など、多くの方々のご協力により、子どもから大人まで楽しみながら防災について学べる内容になりました。

参加された皆さん、お疲れ様でした！
これからも、皆で地域を守る、防災の活動を進めていきましょう！



▲町ごとに集合して避難。



▲避難扉も使ってみました。



▲車椅子を使った訓練も。



▲器材の取扱訓練。



▲シーツを簡易担架に。



▲身近な物で腕を固定。



▲防災クロスロード。



▲建築士会による耐震講座。



▲アルファ米も配りました。

六原の防災まちづくり計画が京都市第1号で認定されました！詳しくは次頁へ。➡

活動
報告！

京都市より、 「六原まちづくり委員会」、 「六原学区防災まちづくり計画」が認定されました！

京都市
第1号！

六原学区には、古い木造の建物が密集するとともに、幅の狭い道や行き止まりの道が多く、災害時に大きな被害を受けるおそれがあります。こうした状況を改善するため、六原学区では、平成24年度から、防災まちづくりを進めてきました。

そして3年間の取組の成果として、この度「六原学区防災まちづくり計画」が完成いたしましたので、ご報告させていただきます！この計画は、六原学区が防災まちづくりを進めるうえで目指す方向性や今後取り組んでいくべき対策についてまとめたもので、意見交換会やアンケートを通じて、学区住民全体のご意見に基づき作成しました。これまでご参加・ご協力をいただいた方々、どうもありがとうございました。

今後は、この計画をもとに、「自分達のまちは自分達で守る」という意識を持って、一つ一つ取組を継続して進めていくことが大切で、それには地域の皆さん一人ひとりの主体的な意識・取組が不可欠です。引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します！



6月30日（火）に、京都市役所で認定式がとり行われ、「六原まちづくり委員会」及び「六原学区防災まちづくり計画」が、それぞれ京都市の認定を受けました。

～「見える化」プロジェクト～

今年度から「防災まちづくり計画」の実現に向け、様々なことに取り組んでいきます。そのひとつとして、今年度は「見える化」プロジェクトと題し、防災まちづくりの取組のうち「みんなで取り組むこと」を実際に目に見える形で具体化する事業を実施する予定です。詳細は未定ですが、皆さんのご意見をいただきながら検討を進めていきますので、ご協力をお願いします！

三盛町

トンネル路地の耐震・防火改修が完了しました！



袋路は、地震等の災害時に入口部分や沿道の建物が倒壊すると逃げ道を失う可能性があります。建物を地震や火災に強くすることで、いざという時安全に避難できる人が増えます。

三盛町のトンネル路地については、「防災まちづくり計画」作成時のワークショップでも、「安全対策が必要」とのお声をいただいていた。そうした声を受け、三盛町の町内会長や近隣にお住まいの皆さん、京都府建築士会のご協力のもと、この度、トンネル路地の耐震・防火改修工事が完了しました。

地域の声をきっかけに、安心・安全なまちの実現に向け、少しずつまちは変わってきています！



昭和小路町 3項道路の指定を受けました！

「防災まちづくり計画」の具体化のひとつとして、6月29日（月）、昭和小路が、町内の方々のご協力のもと、京都市長より「3項道路」に指定されました。

昭和小路のような、古くからある、幅が4m未満の道は「2項道路」とよばれ、建替え時に道路中心線から2mまで敷地を後退する必要があります。「3項道路」は、この後退距離を2mから1.35mまでに緩和する制度で、この指定を受けると、防災性を高めるために建物の階数等が制限される一方、敷地が狭くなり建替え後に十分な規模が確保できない、路地の町並みを保つことができないといった課題を解消することができます。

京都市内では、これまで祇園町南側が唯一「3項道路」の指定を受けていました。昭和小路はこれに続くもので、将来的に今の魅力ある町並みを維持することが可能となりました。また昭和小路町では、引き続き「防災まちづくり計画」に基づき、袋路の安全性向上など総合的な計画づくりを進めていく予定です。



～わが町昭和小路と3項道路～ 吉川哲夫氏（昭和小路町）

六原学区ではここ数年、界隈にはゲストハウスができ、昭和小路でも外国人が街を見学する姿も見受けられるようになるなど、古くから残る町並みが、観光客にとって撮影スポットとなっています。そうした魅力をもつ地域である一方、火災に弱い点が課題であり、これまで昭和小路町では、約半世紀にわたり、町民上げての「火の用心」活動として、一日三回の夜回りを実施してまいりました。

そうした中、この度、六原まちづくり委員会から、魅力ある景観を残しながら、災害に強いまちづくりへの取組として、3項道路指定の提案を受け、今回の指定に繋がりました。平成17年の京都市景観計画の策定、平成23年の東日本大震災をうけ、我が六原学区でも、『安心・安全なまちづくり』をテーマにした自治会の活動がようやく本格的に動き始めた、という思いです。

昭和小路町では、今後も地区計画策定も視野に入れ、六原まちづくり委員会、京都市の協力のもと、活動を継続していく予定です。六原まちづくり委員会が進める活動は、景観の保全と地域の防災力強化を実現する取組として、今後のまちづくりの参考になると思います。

これまでの具体的な対策

- H24：袋路の緊急避難扉の設置（北御門町）
- H26：袋路の緊急避難扉の設置（西轆轤町）
- H26：トンネル路地の耐震・防火改修（三盛町）
- H27：3項道路指定（昭和小路町）



活動紹介!

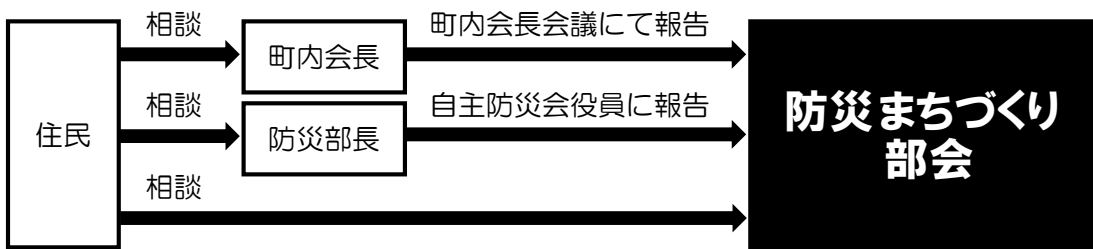
これからの防災まちづくり体制と 取組み予定をご紹介します。

平成 27 年度より、防災まちづくり会議は、六原学区まちづくり委員会の「防災まちづくり部会」として活動を継続します。過去 3 年間、「防災まちづくり計画」づくりを担ってきた自主防災会はもとより、その他広く地域の皆さんの参加も募っています。

また、今後は、地域の皆さんの意見やご意向をこれまで以上に活動に活かせるよう、町内会長会議（原則毎月 12 日）にて、町内会長から各町の状況やご意見を報告していただくことにします。お住まいの地域で防災上不安のあるところ、お住まいのお宅で耐震上のお困りごとがある場合などは、町内会長や防災部長、または防災まちづくり部会にご相談下さい。

地震の時に家が壊れそう。大丈夫かしら…。

家の横の袋路でも、この場所なら避難扉をつけられそうだけど…。



今後の
予定!

防災まちづくり部会の今年度の活動予定

9/13 (日)	地域ローラー作戦 (八坂会)	今年は八坂会を対象エリアに、まちあるきや耐震セミナーなど、身近なご町内の点検を行います。
11/8 (日)	六原フェスタ	防災まちづくりに関するイベントを開催します。
11 月 (予定)	六原住まいの応援談	防災まちづくりに関するセミナーを開催します。
2 月 (予定)	防災ワークショップ	防災まちづくりに関する地域の現状や課題を確認し、今後の対策などについてみんなで意見交換をします。



地域ローラー作戦



六原フェスタ



防災ワークショップ

昨年度の様子

広く参加していただける機会をつくっていきますので、ぜひご参加・ご意見ください!